

公表

令和6年度 事業所における自己評価総括表 『放課後等デイサービス』

○事業所名	青葉区医師会 放課後等デイサービス なのはな		
○保護者評価実施期間	R6年11月20日		～ R6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R6年11月19日		～ R6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入浴が出来る	医療的ケアのある児童の利用が多く、家庭での入浴が難しい。そのため入浴ケアへの希望が強い。 看護師在籍数が多いため医療的ケアに強い。課題は、療育に乏しい点と環境にある。	既存の環境を生かし、安全に心地よく過ごしていただく、更に居室環境を整えていきたい。入浴介助と療育活動の時間配分と工夫。スタッフ間での業務時間管理の意識改革が必要。
2	看護師配置が多く医療的ケア児が利用可能。 介護職員による特定行為が可能。 リハビリ職 (PT,OT, ST) の配置によりリハビリが可能。	当事業所の強みでもある看護師の配置や医療的ケアに対応出来る点は保護者からも高い評価を得ている。 スタッフ間で確認と指摘し合える風土作り。	放課後の短時間利用の中で看護師と介護士が日々のケアと療育を担っているが、今後保育士や教員資格保持者の採用活動も積極的に取り組み、療育活動に力を注ぎたい。
3	訪問看護や訪問介護、相談支援の事業所が併設されている為、通所以外のサービス調整や相談等が可能。	多職種間の情報共有を有効活用し、多方面から医療的ケア児と家族をサポート、サービス調整、相談支援していく。児の成長発達に合わせた支援の継続。	月2階dぴょうび開所。年末年始(特定日のみ)を検討し家族支援を充実させる。 長期休暇を利用して個人的プログラムに準じた療育。を実施したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在保育士、教員資格保持者が不在なので看護師、介護士が児童指導員を担うので、療育プログラムの内容が乏しく、リハビリ器具等の設置がない。 入浴ケア主体なので、療育活動の時間が少ない。	安心安楽な入浴介助と療育活動の時間配分の工夫が足りない。楽しく運動やリハビリが出来る用具の設置。専門職による個別リハビリプログラム対応が少ない。	『放課後等デイサービス支援計画』に基づき支援内容が保護者に説明され、家族支援プログラムや家族等きょうだい児も参加出来るような研修や行事等を検討していく。
2	訪問系サービス事業所を改装した施設なので、1Fとエレベーターの無い2Fと離れの棟と分散した環境にある。体重の重い児童になるとスタッフの年齢や体調を配慮しなければいけない。	既存の居室環境を生かし安全に活動出来る様に生産性向上委員会を発動させて検討していく。年齢や体の動き、医療的ケアの内容により適切な居室を選択していく。	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境かどうか。児が分かりやすい構造になっているか常に評価していく。障害特性に応じてバリアフリー化への配慮がされているか。改善につながるよう検討する。
3	外部事業所(児童館等)との交流が無い。 災害や防災対策の周知が不十分。 乗車中の緊急時対応の見直しを再検討中。	地域交流の場を検討。保育士や教員資格保持者の採用促進。災害対応マニュアル等の説明を防災対策の一環として保護者に毎年行い周知促進していく。	定期的に保護者に向けて通信やホームページ、SNS等で活動内容や概要など又行事予定、連絡体制等保護者へ発信し情報共有する。事業所では事故防止、緊急時対応、防犯、感染症等のマニュアルが策定され、児の安全を。発生を守る。